

第2章 地域特性の現状

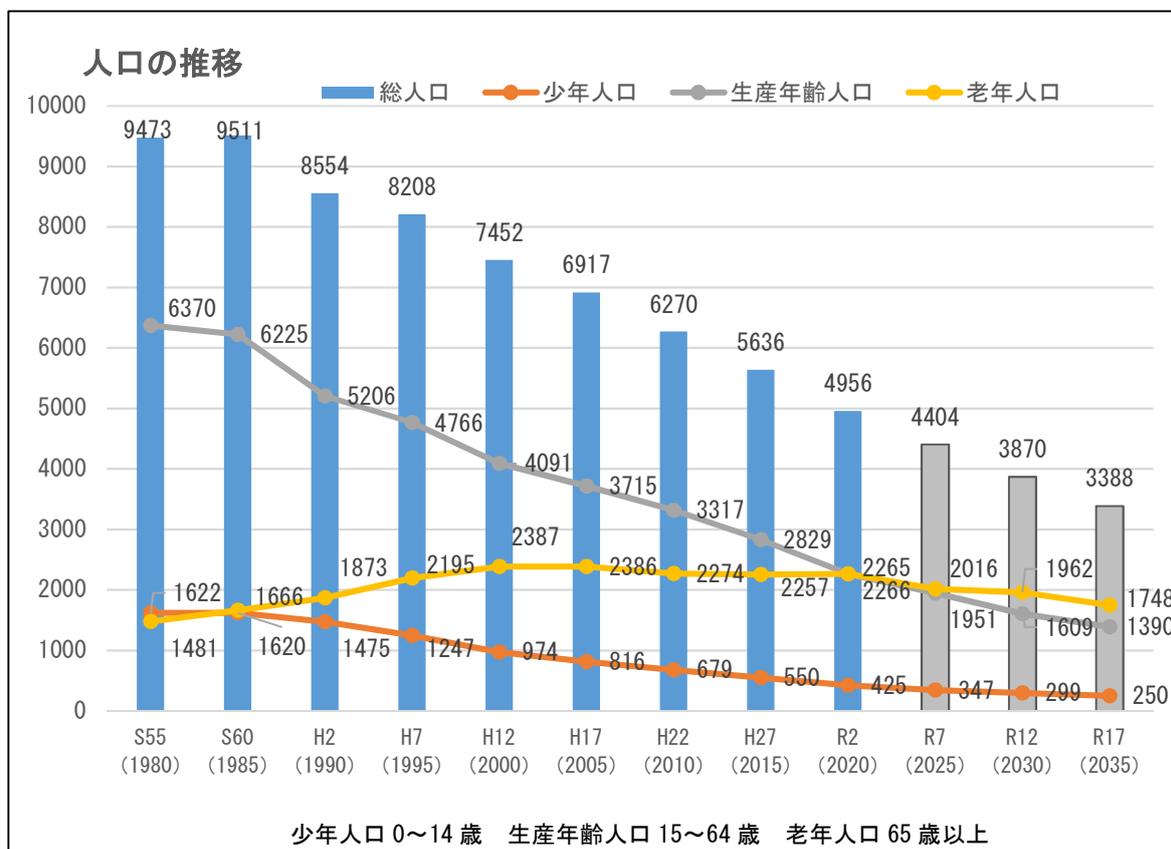
2-1 地域の特徴

(1) 人口動態

本町の人口は、国勢調査数で昭和29年にピークを迎え、15,754人を数えました。昭和55年(1980)には9,473人に減少し、令和2年(2020)調査では4,956人となり、40年間で47.7%減少しています。今後も更なる人口減少が予想されます。

人口構成については、令和2年(2020)調査で、生産年齢人口と老年人口が逆転しており、総人口に占める65歳以上の高齢者比率は45.7%と県内で最も高い割合となっています。今後も高齢者比率は上昇が予想されます。

図2-1 人口推移



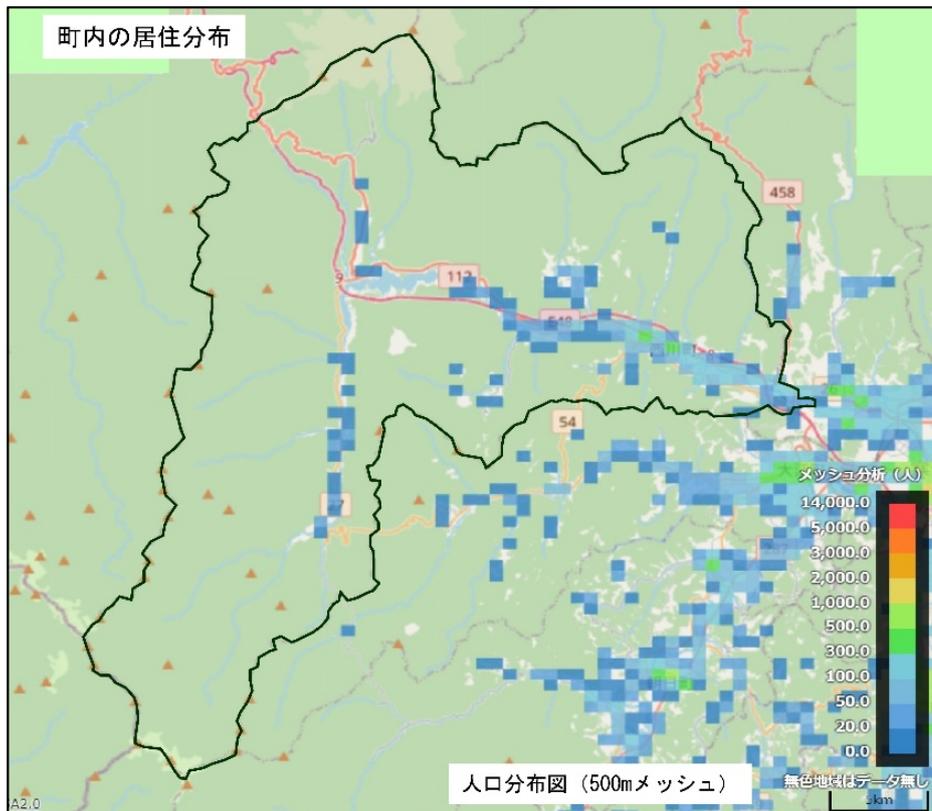
※「国勢調査」及び「社人研推計値」より

(2) 居住分布

本町の居住分布の特徴は、磐梯朝日国立公園内の朝日連峰や月山とその支脈に囲まれた総面積 393.19 km²の土地に対して、町内を流れる寒河江川沿いとその支流沿いのわずかな平地が可住地であり、面積は 12.52 km²全体の 3.2%です。

集落は、国道 112 号沿いと町を貫流する寒河江川沿いに形成され、町の中心部からの距離別集落は 5 km以内に 17 集落、5 kmから 10 km以内が 11 集落、10 kmを超える集落は 15 集落で、最遠距離では 28 km地点に大井沢根子集落があります。

図 2-2 居住人口分布



※総務省「国勢調査に関する地域メッシュ統計」より

(3) 気象・自然環境

近年、世界規模の気候変動の影響を受け、本町でも大雨や大雪といった激しい自然災害が増加傾向にあります。

また、本町は特別豪雪地帯に指定されており、冬季間の積雪への対応が必要とされています。

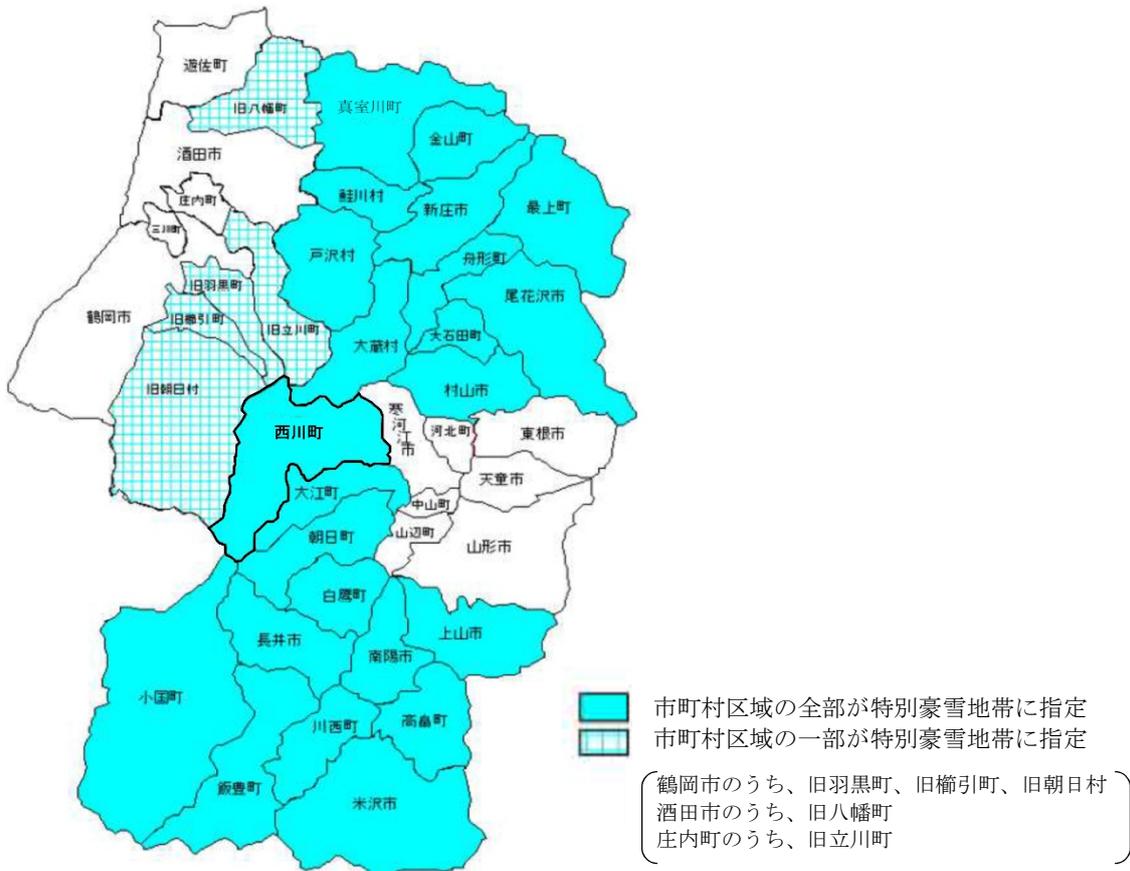
表 2-1 災害対策本部設置状況

年度	災害期日	対策本部	設置日
R2	令和 2 年 7 月 28 日からの豪雨	豪雨災害対策本部	令和 2 年 7 月 28 日
	令和 2 年 12 月からの豪雪	西川町豪雪対策本部	令和 2 年 12 月 17 日
R 元	—	—	—
H30	平成 30 年 8 月 5 日からの豪雨	豪雨災害対策本部	平成 30 年 8 月 6 日
	平成 31 年 1 月からの豪雪	西川町豪雪対策本部	平成 31 年 1 月 25 日

※西川町総務課危機管理係資料より

図 2-3 参考:概要図

特別豪雪地帯の指定状況



2-2 自動車保有台数・免許保有者数・免許返納者の状況

自動車保有台数・免許保有者数は、一人当たり、一世帯当たりともに県平均、東北平均、全国平均を上回り、地方ほど自動車社会である傾向が見て取れます。

また、免許返納者数にも同様の傾向が見られ、一人当たり、一世帯当たりともに県平均、東北平均、全国平均を上回っていますが、これは免許保有者自体が多いためと考えられます。

自動車保有台数（令和元年）

自治体 区分	自動車 保有台数 (単位：台)	人口		世帯	
		人口 (単位：人)	一人当 たり 保有数 (単位：台)	世帯数 (単位：世帯)	一世帯当 たり 保有数 (単位：台)
西川町	4,798	5,008	0.96	1,713	2.80
西村山地域	69,334	77,142	0.90	26,056	2.66
村山地域	441,261	534,966	0.82	201,854	2.19
山形県	906,289	1,074,523	0.84	400,113	2.27
東北	6,886,209	8,678,216	0.84	400,113	2.27
全国	77,991,114	127,138,033	0.61	59,071,519	1.32

表 2-2 資料：県地域公共交通計画

免許保有者数（令和元年 12 月末）

自治体 区分	免許 保有者数 (単位：人)	人口		年齢構成比率		世帯	
		人口 (単位：人)	一人当 たり 保有数	65 歳以 上 (単位：%)	75 歳以 上 (単位：%)	世帯数 (単位：世帯)	一世帯 当 たり 保有数
西川町	3,645	5,008	0.73	37.8	13.6	1,713	2.13
西村山地域	56,020	77,142	0.73	31.1	10.9	26,056	2.15
村山地域	376,311	534,966	0.70	27.6	9.2	201,854	2.13
山形県	757,214	1,074,523	0.70	28.9	9.7	400,113	1.89
東北	5,918,013	8,678,216	0.68	-	-	3,670,053	1.61
全国	82,158,428	127,138,033	0.65	-	-	59,071,519	1.39

表 2-3 資料：県地域公共交通計画

免許返納者数（平成 30 年、令和元年 年計）

自治体 区分	免許 返納者数 (単位：人)	人口		世帯		免許返納者 数／免許保 有者数
		人口 (単位：人)	人口に おける 返納割 合	世帯数 (単位：世帯)	世帯に おける 返納割 合	
西川町	51	5,008	1.0%	1,713	3.0%	1.40%
西村山地域	799	77,142	1.0%	26,056	3.1%	1.43%
村山地域	4,877	534,966	0.9%	201,854	2.4%	1.30%
山形県	10,076	1,074,523	0.9%	400,113	2.5%	1.33%
東北	64,098	8,678,216	0.7%	3,670,053	1.7%	1.08%
全国	1,022,212	127,138,033	0.8%	59,071,519	1.7%	1.24%

表 2-4 資料：県地域公共交通計画

2-3 移動特性

(1) 日常生活の流動

本町の自動車保有台数は4,798台であり、人口5,008人の一人当たりの保有台数は0.96台です。さらに、世帯による保有数を見ると1,713世帯で一世帯当たり2.8台の自動車を保有していることとなります。町では、公共交通の利用状況把握のため、69歳までの住民の主な移動手段は自家用車と仮定し、「免許を持たない」または「返納した」可能性のある70歳以上の高齢者に対し、公共交通についてのアンケート調査を実施（令和3年6月）し、現状把握と結果分析を行いました。

○日常生活の移動動向

「通院」の移動実態は、約9割が定期的に病院・診療所に通院しており、高齢者の46.5%が町立病院を通院先として回答しています。次いで寒河江市内の病院（市立病院を除く）や診療所が21.8%です。なお、隣接する寒河江市立病院への通院は6.3%、県立河北病院への通院は4.6%という回答結果です。

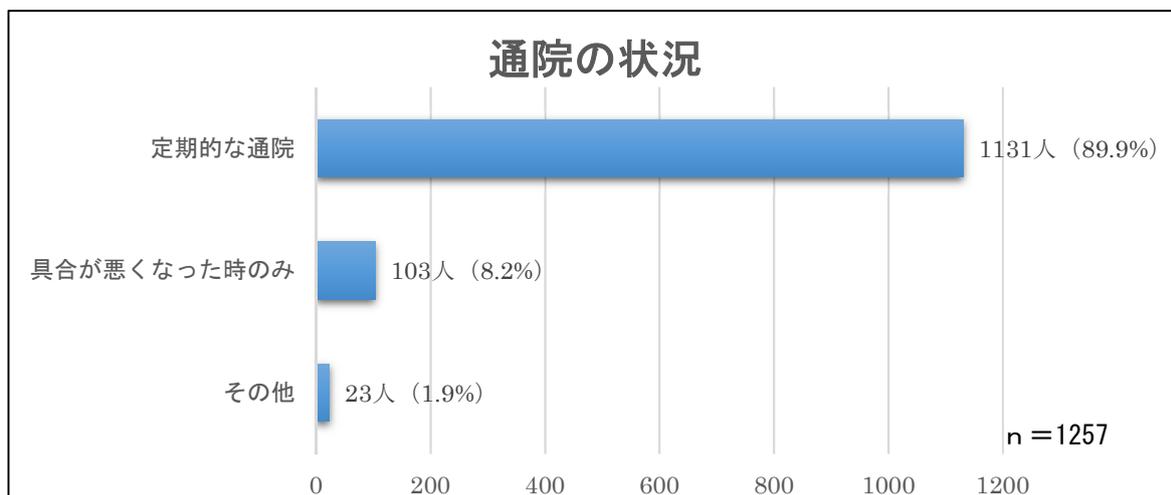


図 2-4 町公共交通アンケートより

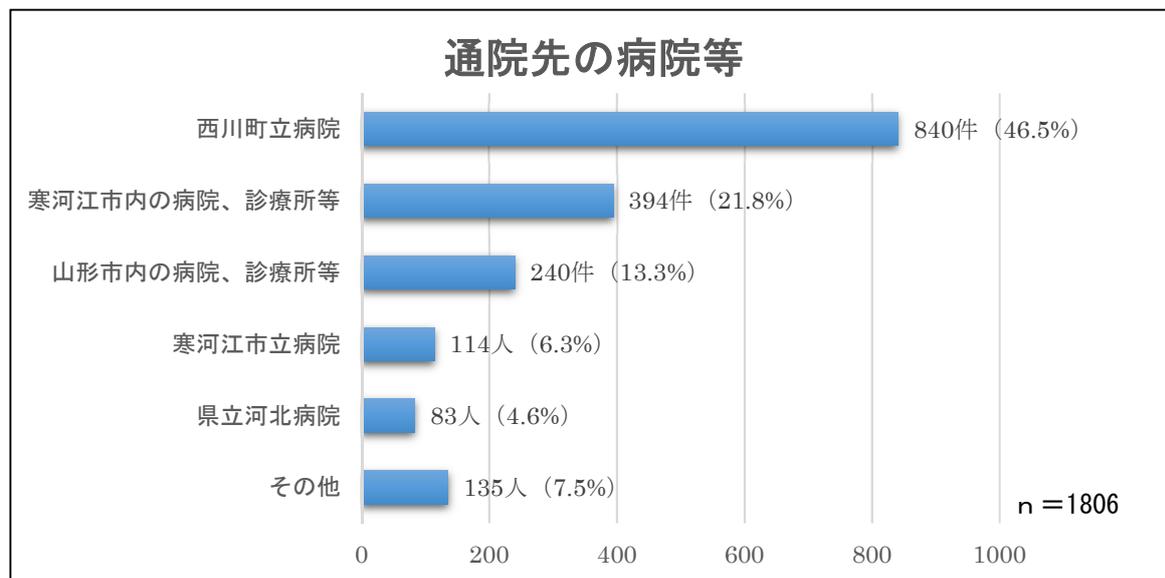


図 2-5 町公共交通アンケートより

70歳以上の高齢者の「買い物」の移動実態を目的及び方法について調査した結果、買い物を目的として外出する高齢者の割合は、44.2%、通院のため外出するついでに買い物する割合は27.3%です。一方、自らが外出せず、家族や親戚に依頼する、移動販売を利用する、宅配サービスを利用すると回答した割合は全体の約1/4の26.1%です。なお、買い物場所については、隣接する寒河江市が約5割（49.5%）、次いで町内の4割（44.0%）という結果です。

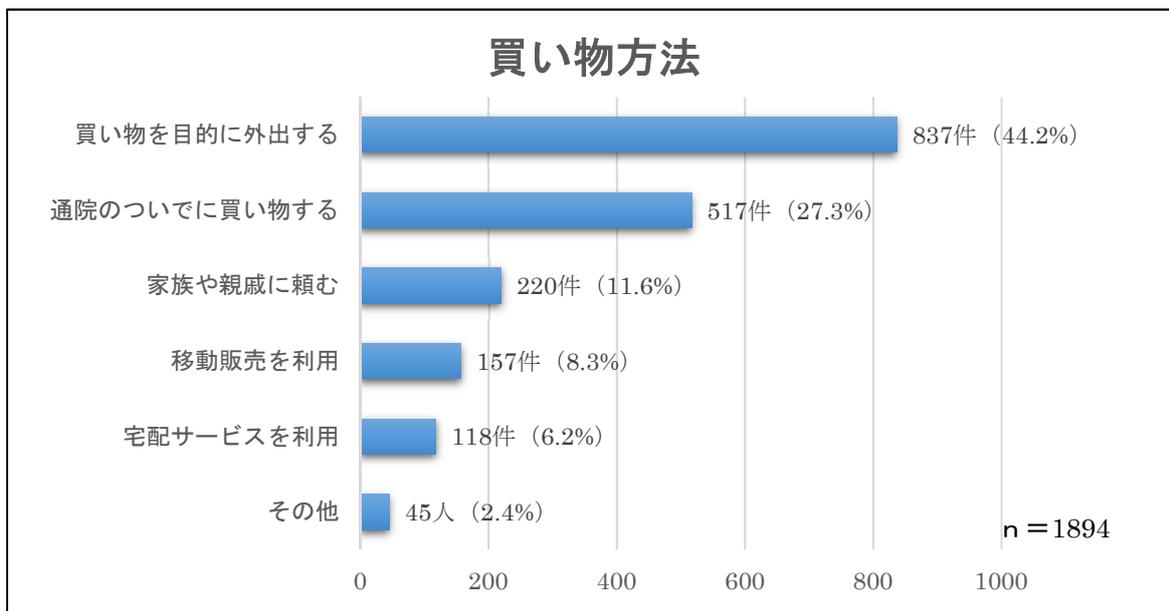


図 2-6 町公共交通アンケートより

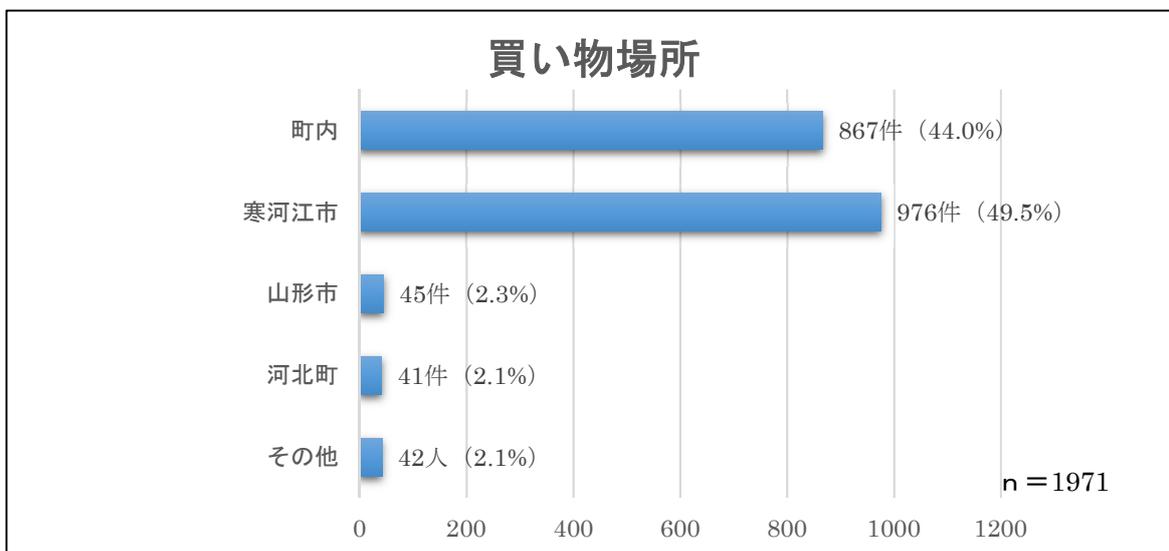


図 2-7 町公共交通アンケートより

以上の結果から、「通院」及び「買い物」については、ほぼ半数の高齢者が町内の移動で用件を済ませており、町外で用件を済ませる場合でも、隣接する寒河江市、河北町までの移動で済ませている人が「通院」では約3割、「買い物」では5割を超えていることがわかりました。

○外出時の移動手段

「通院」及び「買い物」の際の移動手段の実態について、「通院」の移動手段では全回答1,362件の内自家用車による移動が1,104件(81.1%)、公共交通(町営路線バス、鉄道、タクシー、デマンド型乗合タクシー)による移動は196件(14.4%)です。「買い物」の際の移動手段としては全回答1,238件の内自家用車による移動が1,089件(88.0%)、公共交通(町営路線バス、鉄道、タクシー、デマンド型乗合タクシー)を移動手段としたのは59件(4.8%)です。

この結果から、70歳以上の高齢者においても、主要な移動手段は自家用車であることがわかりました。

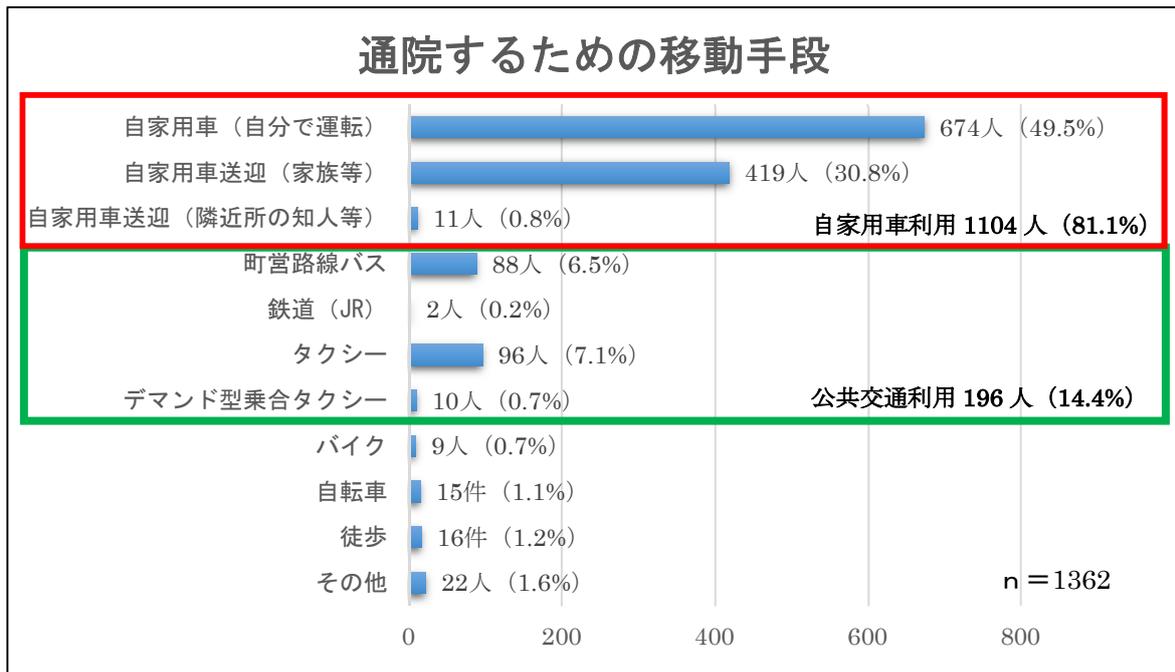


図 2-8 町公共交通アンケートより

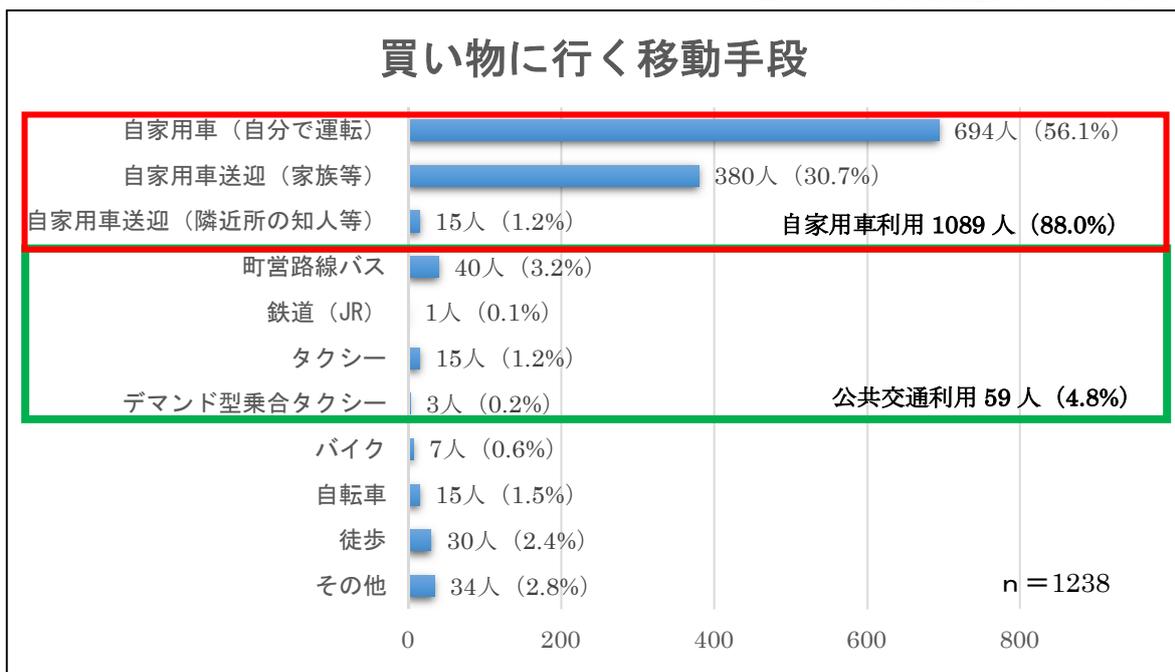


図 2-9 町公共交通アンケートより

次に公共交通の移動手段の内「町営路線バス」の日常的な利用状況について、全回答 1208 人の内、年に 1 回以上利用したことがある人は 286 人（23.7%）ですが、週に数回利用している人は 10 人（0.8%）です。一方で、町営路線バスを利用したことが無い人は 922 人（76.3%）と高い割合です。

他に代表的な公共交通の移動手段として「鉄道」がありますが、町内に鉄道の駅が無い本町での利用頻度は低い状況にあり、鉄道を利用したことが無い高齢者は 1,062 人（87.5%）に達します。

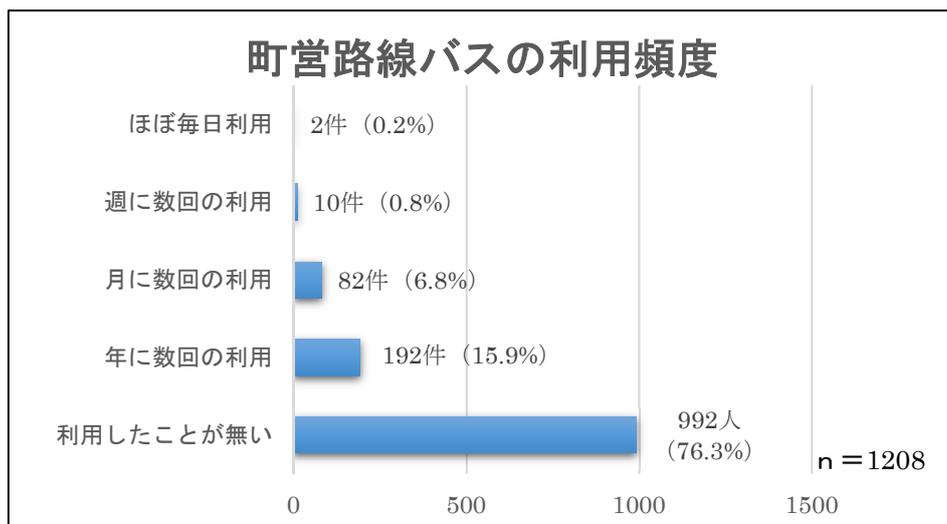


図 2-10 町公共交通アンケートより

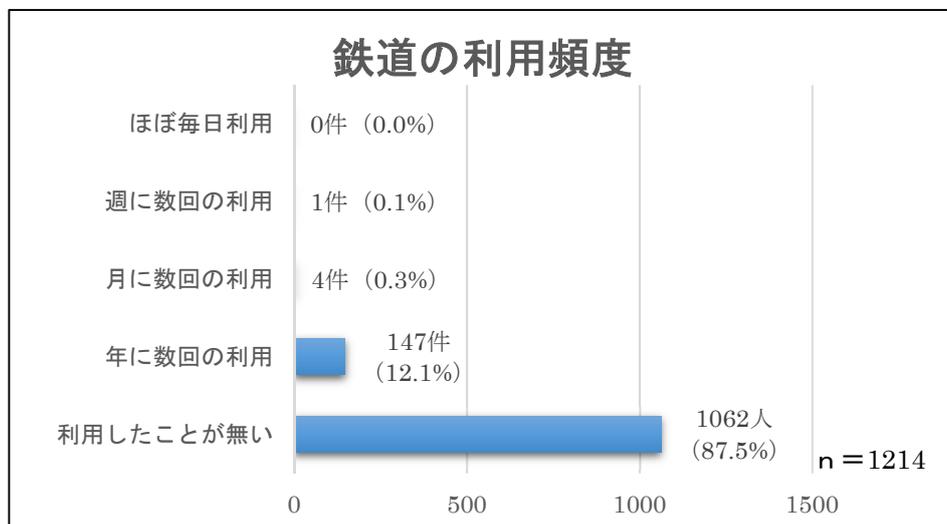


図 2-11 町公共交通アンケートより

(2) 観光動向・観光流動

○観光客数及び観光施設

本町は、磐梯朝日国立公園を有し、雄大な自然と豊富な温泉資源により、県内有数の観光地として発展してきました。しかし、近年の観光客数としては、平成30年度に768,100人の誘客がありましたが、新型コロナウイルスの影響により、令和2年度の観光客数は平成30年度の誘客数の45.4%にあたる348,400人まで減少しています。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
西川町	697.2	642.7	768.1	635.4	348.4
村山地域	22,208.5	21,859.7	21,560.1	20,605.1	12,125.1
山形県全体	45,814.1	45,122.4	46,507.4	45,311.7	27,511.2

表2-5 資料：山形県観光者数調査

主な観光地一覧

来訪規模	類型	観光地名
10万人以上 20万人未満	山岳観光地 スキー場	月山 月山スキー場
5万人以上 10万人未満	温泉観光地 道の駅 その他	水沢温泉（水沢温泉館） 月山銘水館 弓張平公園

表2-6 資料：山形県観光者数調査及び町商工観光課調査

○観光流動傾向

令和3年6月に本町を訪れる観光客について調査した結果では、居住地の半数が県内であり、全体の6割が日帰りの観光客です。なお、調査対象数が少ないため参考値としての取り扱いとなりますが、近年の新型コロナウイルスの影響もあり、今後もこの傾向は続くものと考えられます。

回答者属性	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
居住地	県内 (50.0%)	関東地方 (28.1%)	宮城県 (9.4%)	その他 (9.4%)	東北地方 (3.1%)
同行者	1人 (37.4%)	家族 (31.3%)	友人 (21.9%)	その他 (6.3%)	グループ (3.1%)
滞在日数	日帰り (59.4%)	1泊2日 (15.6%)	2泊3日 ~3泊4日 (9.4%)	その他 (6.3%)	—
移動手段	自家用車 (75.0%)	バス (15.6%)	宿のバス・タクシー・徒歩 (3.1%)	—	—
訪れた観光地 訪れたい観光地（上位5位）	月山スキー場 (23%)	道の駅「にしかわ」 (16%)	月山志津温泉 (7%)	弓張平公園 (6%)	大井沢温泉館 (6%)

(3) 公共交通等の運行状況

○西川町の公共交通等の運行状況は以下のとおりです。(令和3年4月現在)

種類	運行事業者等	概要
航空便	全日本空輸	【最寄り空港】山形空港(東根市)
鉄道	東日本旅客鉄道	【最寄り駅】羽前高松駅(寒河江市) 【路線名】左沢線
高速バス	山交バス 庄内交通 宮城交通 羽後交通 (共同運行)	【路線】 (1)仙台線(酒田庄交バスターミナル～仙台駅前) (2)山形線(酒田庄交バスターミナル～山形駅前)
路線バス	西川町 (町営路線バス)	(1)地域間幹線系統 ▶「道の駅にしかわ・寒河江駅線」(西川町⇔寒河江市) (2)フィーダー(支線)系統 ▶「羽前高松駅・県立河北病院線」(寒河江市⇔河北町) ▶「大井沢・稲沢・左沢線」(西川町⇔大江町) ▶「虎屋酒造線」 ▶「小沼線」(全便デマンド運行) ▶「東部デマンド循環線」(全便デマンド運行)
スクールバス	西川町	町立西川小学校、西川中学校 (1)スクールバス路線 ▶熊野・稲沢線 ▶吉川線 ▶睦合線 (2)スクールバス(一般客混乗路線) ▶志津線 一般混乗:「月山志津温泉線」 ▶大井沢線 一般混乗:「大井沢線」 ▶岩根沢・海味線 一般混乗:「岩根沢線」 ▶月岡・水沢線 一般混乗:「本道寺線」 ▶入間・原・沼山線 一般混乗:「小山線」
デマンド交通	西川町 (実証運行)	デマンド型乗合タクシー (1)月岡・本道寺・水沢・綱取・岩根沢地区 (2)小山・入間・沼山・原地区
タクシー	月山観光タクシー	【受託事業】 町営路線バス運行、スクールバス運行、デマンド型乗合タクシー運行

表 2-8 庁内各課調べ